

■徳川光圀(水戸義公) 第2代水戸藩主。「大日本史」の編纂・水戸学・文化財保護など、名君を超え、「水戸黄門」として伝説化。

とくがわみつくに
..... 1628=

常陸国水戸で、側室谷久子を母に、初代藩主徳川頼房の三男に生まれる。

父がその出生を喜ばず、家臣の屋敷で養われたが、

徳川秀忠没・1632= 4歳：公子と認められ、水戸城に入る。

鎖国令始・1633= 5歳：9つ上の長兄頼重をさしおいて世子に決定し、江戸の水戸藩邸に移る。

鎖国令Ⅱ・1634= 6歳：闇夜に処刑された罪人の生首を引き摺って歩いたり、

東照宮完成・1636= 8歳：元服のとき3代将軍徳川家光の1字を与えられて光国と名のる。

島原の乱始・1637=**9歳**：

鎖国令Ⅴ・1639=11歳：洪水直後の隅田川を泳ぎ切るなど、腕白ぶりを示し、

寛永飢饉始・1640=12歳：補導役の家臣をつけられるも、学問にほとんど関心を示さず、かぶき者で不逞無頼、

家光鎖国完成1641=13歳：

御三家の世子としてふさわしくない言動が多いとして、周りの人々を困らせていたが、

寛永飢饉終・1643=15歳：父が熱海へ湯治に行く際にも、連れられて厳しい注意をされるも聞かず、

..... 1645=17歳：

「史記」の伯夷伝を読んで発奮する。また長兄頼重(高松藩主)をさしおいて世子となったことを恥じ、兄の子を養子とすることを心に決した。

..... 1646=**18歳**：以後は歴史編纂を志し、集中的に勉強し、また多くの古書を集め始める。

徳川家光没・1651=23歳：

自らが「史記」によって発奮したことから、後世の青少年のためにと、

..... 1655=**27歳**：

明暦の大火・1657=29歳：この年の明暦の大火で後樂園が類焼。***江戸神田邸内に史局を置き、「大日本史」の編纂を始める。**

清帝国始・1661=33歳：***第二代藩主となる。**

この時、兄頼重の子を迎えるが、
早世したため、その弟綱条を養子とする。

..... 1664=**36歳**：

諸宗寺院法度1665=37歳：中国から亡命してきた大学者朱舜水を藩に招く。

酒井忠清大老1666=38歳：領内の新寺997を毀ち、古寺を再興するなど、
文化財の発掘保存、修復にも力を入れ、仏像などの保護にも努めた。

シャクシャインの乱 1669=41歳：後樂園を補修完成。

東南海運確立1672=44歳：***史局を小石川に移し、彰考館と命名。全国各地から学派にこだわらず学者を招き、多いときは館員が60名を超すこともあった(この学者の間に一つの学風が生まれ、これが天保期に大成されて、水戸学となる)。**

越後屋オープン 1673=**45歳**：

..... 1674=46歳：「甲寅紀行」「鎌倉日記」成る。

徳川綱吉將軍1680=52歳：「一代要記」「扶桑拾葉集」ほかを幕府に献上する。

好色一代男・1682=**54歳**：

八百屋お七・1683=55歳：天地球図を幕府に献上する。この頃、国を圀に改めた。

堀田正俊暗殺1684=56歳：

日本永代蔵・1688=60歳：大船を建造して、蝦夷地を探検させる。

..... 1689=61歳：「扶桑拾葉集」成る。

湯島聖堂・1690=62歳：***引退。水戸の北西山荘(常陸太田市)に隠棲し、綱条が第三代藩主となる。**

別子銅山始・1691=**63歳**：

自らの生い立ちを踏まえ、子どもの教育に対し、すぐれた考え方をしていた。

生類憐令頂点1695=67歳：

..... 1700=**72歳**：没した。